



# 退団された分団長ご挨拶



前第10分団長  
野口 英一郎

平成9年に入団し、以来23年間、消防団員として地域の防火・防災活動に務めてまいりましたが、このたび府中市消防団を退団いたしました。  
地域の皆様をはじめとし、消防関係各機関の皆様、OBの皆様、そして仲間である個性あふれる熱き男たち第10分団の団員皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。  
在団中は火災・自然災害における活動をはじめ各訓練において、地域の防火・防災の要である消防団員として、貴重な体験をさせていただき、また、分団長としての3年間では、新型ポンプ車の配備・東京都消防操法大会への出場や、近年さらに懸念される自然災害での出勤も多く、記憶に残る年月でした。  
今後は消防団活動での経験を活かし、地域の防火・防災に貢献し、分団をサポートできればと思っております。  
「ひろげよう 防火防災 地域のこころ」  
府中市消防団の更なる発展とご活躍をご祈念申し上げます。  
長年にわたり大変お世話になりました。



前第9分団長  
田中 良和

この度、令和2年3月31日をもって第9分団長を無事に退団する事に心より感謝申し上げます。また、在団中に於いて、地域の皆様歴代分団長並び諸先輩方、市署、消防関係各位の皆様には、ご指導、ご協力を賜りまして誠に有り難うございました。  
分団長として経験した2年間は9分団の技術、知識の向上と地域の防災力の強化に努めてまいりました。団員の方々は昼夜を分かたず、ご家族のご協力も相成って素晴らしい活動ができました。  
これからも府中26万市民の生命・身体・財産を守る一翼で有ります様、心よりお祈り申し上げます。今後は、消防団を支えられる様な地域防災の活動に貢献して行ければと思います。大変お世話になりました。



前第4分団長  
金井 淳一

平成15年に入団して以来17年間の消防団活動を続ける事ができたのは、地域の皆様をはじめ、消防関係の皆様、第4分団の団員や諸先輩方、また家族の協力があったからこそです。大変お世話になり心より感謝申し上げます。  
在団中は火災出動、台風などに伴う警戒、広報活動、様々な訓練などで普段はできない貴重な経験を沢山させて頂きました。  
特に分団長として活動した4年間は、本団の方々や各分団の分団長、事務局の方々などと交流し得た事は、忘れることのできない思い出となりました。  
今後は、この消防団活動で培った経験を、分団のサポートや、地域の防火防災に貢献できればと思います。長い間大変お世話になりました、ありがとうございます。



前第2分団長  
原田 修一

この度、令和2年3月31日をもって府中市消防団を退団いたしました。  
在団中は2分団団員、分団OB、地域の皆様、消防関係各機関の皆様、そして家族の支えがあったからこそ続けることができました。心より感謝申し上げます。火災出動、台風警戒、広報活動や訓練を通じて貴重な経験をさせて頂きました。こうした消防団活動も団員皆で一致団結したからこそ乗り切ることが出来たと感謝しております。  
これからは消防団活動で得た経験を地域の防火、防災に貢献できればと思います。結びに府中市消防団のさらなる発展をお祈り申し上げます。長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。



前第15分団長  
井上 泰一

平成6年に7府中市消防団に入団させていただきました。入団より25年間無事に消防団活動を終える事が出来たのも消防関係各機関、地域の皆様、諸先輩方、地元第15分団の仲間たちの支えがあったからこそ心から感謝申し上げます。  
昨年の台風19号では府中市初の避難勧告が発令され、自分たちも初めての経験でしたが団員一丸となり日ごろの訓練の成果を活かし、無事乗り切ることが出来ました。  
25年の消防団生活では、貴重な経験、貴重な仲間を本当にたくさんいただきました。これからはこの経験を少しでも地域の皆様に返していけたらと思っております。本当に長い間お世話になりました、ありがとうございます。



前第14分団長  
小牧 秀幸

令和2年3月末日をもって、府中市消防団を退団いたしました。在団中は地域の皆様をはじめ、本団、分団長会、市当局、消防署、関係各機関の皆様には大変お世話になりました。皆様のご指導とご支援のおかげで、20年間の消防団活動を終えることができました。  
特に分団長としての2年間は、地域の安全と安心を守るために一丸となって活動した第14分団の団員や先輩方に支えていただき、職務を全うすることができました。  
今後は消防団活動で培った経験を活かし、微力ではございますが、地域の防火・防災に貢献できればと思っております。  
結びに、府中市消防団のさらなるご発展をご祈念申し上げます。長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。



前第12分団長  
前田 就平

この度、令和2年3月をもって、府中市消防団を退団致しました。  
平成8年入団以来、24年間の消防団活動、とくに分団長を務めました2年間は、地域の皆様、本団、消防署、事務局、そして第12分団の団員皆様、なんとかその責務を果たせたのも、皆様のご協力があったことだと、改めて感謝申し上げます。  
また、色々と犠牲にしなければならぬ職責を理解し協力してくれた家族に感謝申し上げます。  
今後は、消防団活動で経験し感じたことを、地域の防火、防災に微力ながら貢献していきたいと思っております。  
結びに、府中市消防団の益々のご発展をご祈念申し上げます。ありがとうございます。



前第11分団長  
海老澤 拓馬

令和2年3月末日をもって府中市消防団を退団いたしました。平成10年の入団から22年間、分団長まで務め上げることができたのも、府中消防署・市当局・団本部・後援自治会・OB各位からのご指導、そして家族同然のように一緒に活動してきた団の仲間の支えがあったからこそと、深く感謝を申し上げます。  
平成23年に起きた東日本大震災では、地域防災の重要性を強く感じ、また昨年の台風19号に伴う避難勧告発令では、避難の誘導や広報巡回活動など、改めて消防団の重責を感じると共に、自然災害の恐ろしさを感じました。今後は台風など猛威を振るう自然災害はますます増え、地域における消防団が担う役割はより一層重要視されていきます。私も少しでもサポートしていけるよう、地域の防火・防災活動に努めてまいりたいと思っております。  
長い間、本当にお世話になりました、ありがとうございます。



▲無線で各分団へ指示をする本団

策本部からの指示事項等を各分団へ伝達し、台風時の活動要領について消防団全体で確認を行いました。

### 令和2年度合同水防訓練

令和2年5月24日(日) 府中市中央防災センター内において、府中市合同水防訓練を実施しました。  
本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訓練規模を縮小して実施し、昨年の台風19号の風水害を想定したシナリオで訓練が実施されました。  
中央防災センター内に災害対策本部を設置し、府中市長以下市役所幹部、消防署、消防団が連携体制の確認を行いました。  
各防災センターに参集した分団長に対し、本団の無線指揮により、災害対策本部からの指示事項等を各分団へ伝達し、台風時の活動要領について消防団全体で確認を行いました。



▲延焼防止のため活動する団員

### 大規模火災出動

令和2年2月19日(水) 府中市四谷の市施設において、建物火災が発生し、警戒区域分団のポンプ車5台、団員52名が出動しました。  
本施設は大規模で内部が複雑な構造となっており、施設内に防火水槽が1基のみで困難性の高い消防活動となりました。  
消防団においては、延焼防止のためホース一口を待機、防火水槽充水のためホース延長・中継を行い、署隊活動隊員の安全確保など、長時間にわたる警戒活動に従事しました。



▲本団からの指揮を受ける分団長

会 長	本 間 郁 浩
副 会 長	中 田 和 夫
副 団 長	川 崎 好 之
広 報 委 員 長	加 辺 良 輔
東 部 プ ロ ッ ク 長	第 1 分 団 小 倉 俊 秀
中 部 プ ロ ッ ク 長	第 9 分 団 小 澤 亮
西 部 プ ロ ッ ク 長	第 15 分 団 増 田 哲 也
東 部 広 報 委 員	第 2 分 団 山 口 正 和
中 部 広 報 委 員	第 7 分 団 金 子 謙 輔
西 部 広 報 委 員	第 12 分 団 林 正 大
第 17 分 団	種 坂 晃 一
第 11 分 団	北 村 裕 哉
第 13 分 団	藤 原 光 輔
第 14 分 団	松 村 憲 一
第 16 分 団	澤 井 政 善
第 18 分 団	牛 島 徹

### 広報委員会名簿



西部ブロック長  
第15分団  
増田 哲也

お世話になっております、第15分団広報委員の増田と申します。  
新型コロナウイルスの影響で、我々消防団活動も活動内容の縮小をせざるを得ない状況にあります。不要不急の外出を避け、二密を作らないよう東京都知事からの要請を受けました。府中市内の防災を急ぐわけにも往かず必要最低限ですが活動を行っています。  
平素より、高野市長や本団長のお言葉にある様、家族のご理解あつての消防団であり、消防団活動です。まずは団員一人ひとりがコロナに感染しないことを念頭に、収束宣言が出されるまでは活動を行って参ります。  
地域の防災訓練などはまだ実施することは難しい状況ですが、消防団員を見かけることが有りましたら応援して頂けると幸いです。